

後援 石川県・金沢市

1952年作品



# 原爆の子

監督・脚本/ 新藤兼人 出演/ 乙羽信子 滝沢修 奈良岡朋子 ほか

1952年、原爆投下から7年後に製作された自主製作映画。ヒロシマの子どもたちが切々と綴る原爆の悲劇  
チェコスロバキア第18回国際映画祭平和賞・ブリティッシュフィルムアカデミー国連賞・ポーランドジャーナリスト協会名誉賞

2010年

7月17日(土) 10:00~11:40

石川県教育会館 3階ホール

金沢市香林坊1-2-40 Tel076-222-1241

入場料: 一般 500円 (高校生以下無料)

瀬戸内海の島で教師を勤める孝子は四年ぶりに故郷、  
広島を訪問する。戦後復興の兆しの中、かつての教え子の  
家庭で目撃したのは未だ残る原爆の惨禍。元使用人の岩  
吉翁さんに偶然出会った孝子は、その窮状に胸を打たれ、岩  
吉の孫を島に連れ帰ることを申し出るが――。

この映画の企画が練られた一九五〇年(昭和二十五年)当時はアメ  
リカとの講和条約締結以前であり、原爆問題に触れることはタブーとさ  
れていた。ロケ地の広島は表通りから一步裏にはいればまだ瓦礫の山。原  
爆資料館も建設中であり、映画はこの中で働く被爆者の姿を捉えてい  
る。また、原爆乙女といわれた若い被爆女性たちが積極的に参加出演し  
ており、ドラマ自体もドキュメンタリーの要素を多分に含んだものとなっ  
ている。

<問合せ先>

石川県原爆被災者友の会 (西本)

TEL 076-298-2487

石川県生活協同組合連合会

TEL 076-264-0550



被爆65周年・石川県原爆被災者友の会結成50周年記念事業 映画上映会  
主催 石川県原爆被災者友の会 / 共催 「反核・平和おろづる市民のつどい」実行委員会

イラスト  
かるべめぐみ